



高木学園とその後の経過について

10月7日の自治連合会で、高木学園から状況報告がありましたので、ご報告申し上げます。

1、4者会議につきましては、

平成18年2月15日の第一回から4月26日の第六回まで計六回開催された。六回目の会議において、当初の提案から形状変更等されたため、妥協点に至った。今後は、各ブロック単位(学校、医師会、アクアコート)で交渉することになった。

2、各ブロックの対応

学 校

5月24日に高木学園と小学校・PTAの分科会が行われた。今後継続審議することで一致した。

医師会

継続して話し合いがもたれている。

アクアコート

会合が4回もたれた。

高木学園側がアクアコートのご入居者に個別に説明して回った。

9月22日 アクアコート自治会と合意に達した。

3、10月7日の定例会議で、高木学園からこれまでの進捗状況今後の予定について、説明があった。

< 概 要 >

これまでの地元との協議に基づき、建物の高さを低くしたり、建物の形状を変更したりという、設計変更を行った。

アクアコート自治会とは9月22日に合意に達した。

総合設計の審査承認を終えており、今後は基本設計の変更は出来ない。

今後は、空調室外置き場の問題や、病室からの見下ろし対策、緑化についての検討を行う。

早ければ、今年12月に着工、学校を平成20年春に開校し、病院は平成21年春に開院したい。

全室個室(約20㎡)であるが、一般的な医療保険で可能な金額(1万円～1万5千円/日程度)水準とする。

一般外来も設け、対象を特定した施設とはしない

最新鋭の検査診断装置を導入し、地元の医療機関との共同利用を考えている。

以上でございますが、逐一のご報告が無かったり、遅くなりましたことをお詫び申し上げます。